

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142L011	製図 (Draft)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	1	3	教育学部			氏名 中原久志, 萩嶺直孝 E-mail nakaharah@oita-u.ac.jp(中原), hagimine@oita-u.ac.jp(萩嶺) 内線 7590(中原),											
授業の概要	製作品の製作に必要な図面の役割、製図道具とその使い方、基礎となる図法、図形の表し方、寸法公差・幾何公差について概説し、適切に図面を構想・作成できる能力を養う。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	基礎的な製図法を習得し、構想した製作品を図面に表現できること																
目標2																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	製図の意義と目的(担当:中原)																
2	製図用具と使い方(担当:中原)																
3	製図規則(線の用途と種類、寸法補助記号)(担当:中原)																
4	製図規則(文字の記入、尺度、寸法記入方法)(担当:中原)																
5	基本図法 キャビネット図(担当:中原)																
6	基本図法 等角図(担当:中原)																
7	基本図法 材料取り図(担当:中原)																
8	機械製図と第三角法(担当:萩嶺)																
9	機械 投影図(担当:萩嶺)																
10	機械 等角図(担当:萩嶺)																
11	機械 断面図(担当:萩嶺)																
12	機械 寸法記入(担当:萩嶺)																
13	歯車と製図(担当:萩嶺)																
14	CAD/CAMを利用した設計・製図(担当:萩嶺)																
15	まとめと製図教育の実際(担当:萩嶺、中原)																
ラーニング	A:知識の定着・確認	実技, ディスカッション, 評価					工	その									
ニ	B:意見の表現・交換						夫	他									
ン	C:応用志向																
グ	D:知識の活用・創造																
時間外	準備	事前配布プリントを熟読する															
の内容と	学修																
時間の	事後	課題及びレポートを作成する															
目安	学修																
教科書	随時プリント資料を配付する																
参考書	JISにもとづく標準製図法(理工学社) 製図(実教出版)																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	図面評価	50%															
	課題レポート	50%															
注意事項																	
備考	R2年度以降入学生については、3年次後期開講予定です。																
リンク																	
	URL																